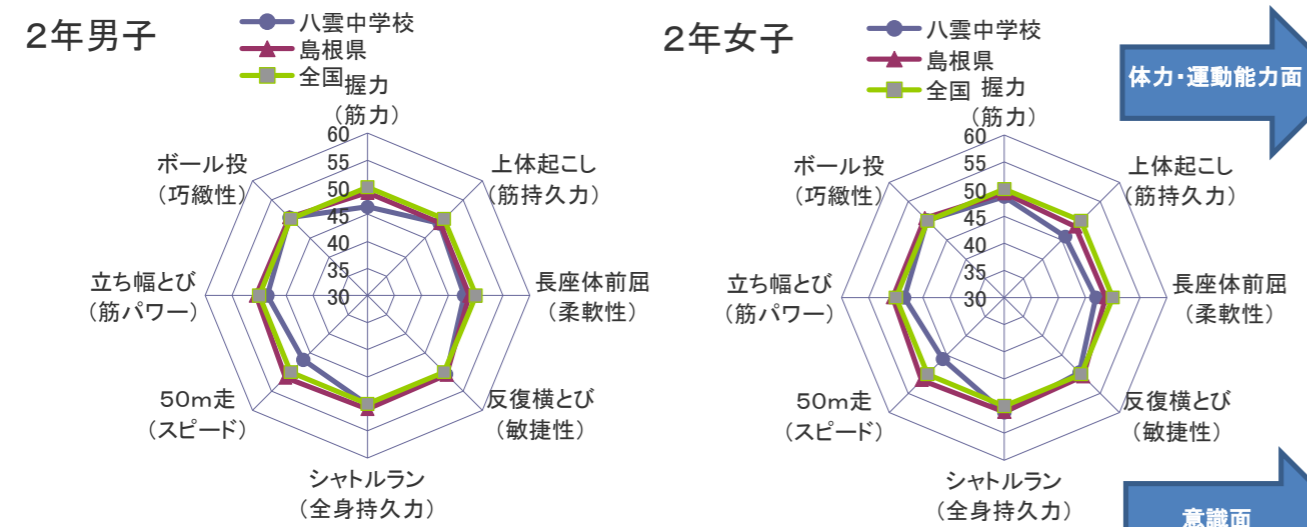
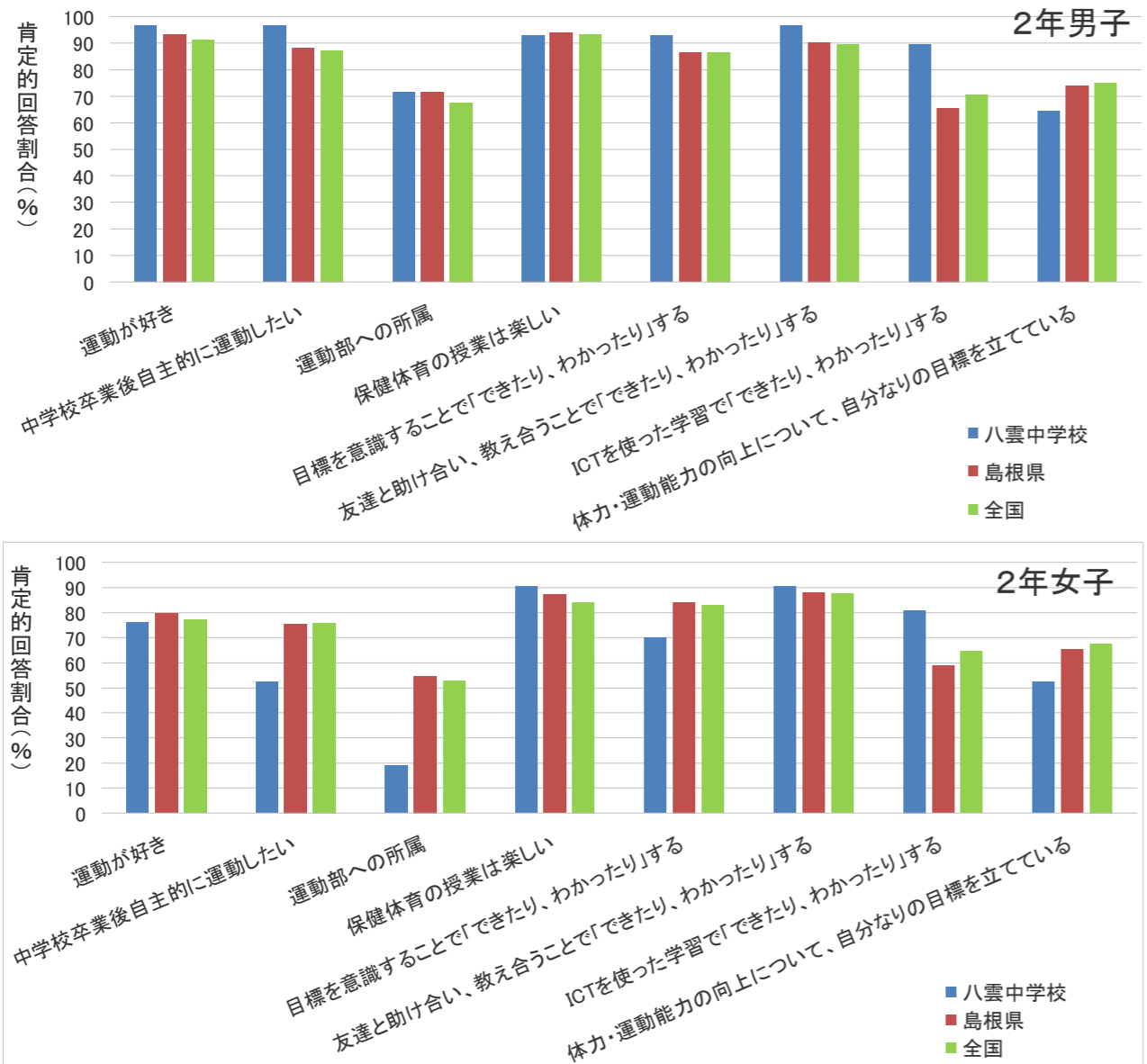


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-3.6	-1.2	-2.2	0.6	0.1	-3.2	-1.5	0.4
女子	-1.4	-4.1	-3.1	-0.5	1.2	-3.9	-1.6	0.2

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]
 弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校卒業後自主的に運動したい	運動部への所属	保健体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	5.4	9.3	3.8	0.0	6.3	7.1	19.1	-10.7
女子	-1.0	-23.6	-33.7	6.3	-12.8	2.8	16.3	-15.4

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]
 弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

・男女とも基礎体力が低下している現状を踏まえ、授業はもとより運動部を中心に基礎体力トレーニングを実施する。
 ・意識面では、目標や目的意識をもっていない生徒の割合が高く、運動の必要性や自身の課題等に意識を向けている生徒が少ないため、やらされている感が強く残ってしまうのではないかと。改善策として、体育理論の授業や、各部活動などで、トレーニングや基礎体力の重要性を意識させる。